しものせきこう
下関港新港地区国際物流ターミナル整備事業（水深12m）【直轄】

継続　港空－1

■ 事 業 概 要

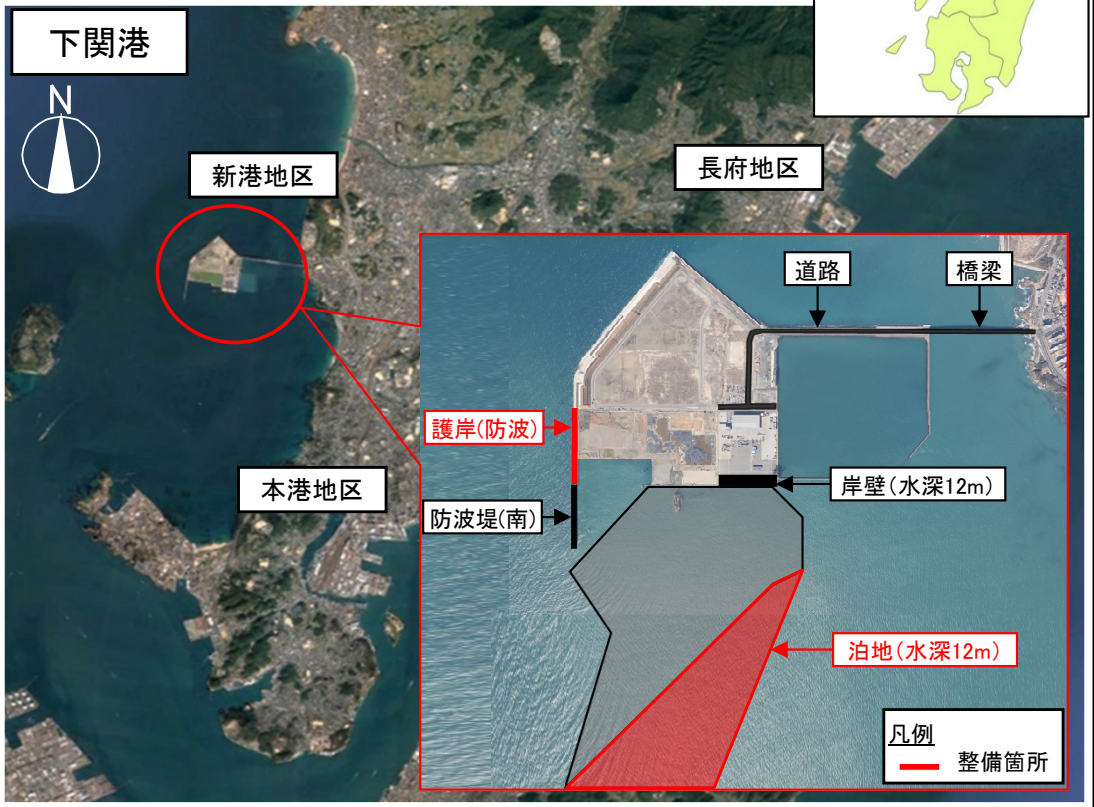
○下関港新港地区は、旧コンテナターミナルの利用上の制限の解消や新たな需要に対応する岸壁等の整備進捗により、コンテナ貨物を含む取扱貨物量が増加している一方、泊地の整備が完了しておらず、水深が確保出来ていない状況。

○新港地区において、国際物流ターミナル（泊地、護岸(防波)）の整備を行うことで、物流機能の拡充を図る。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：4.0億円
○令和5年度の実施内容　　：泊地、護岸(防波)の整備

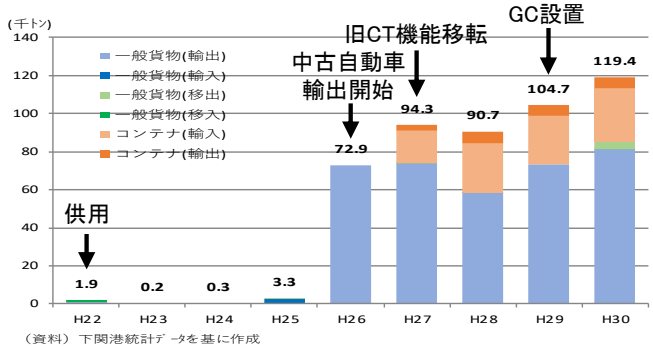




整備効果

○新たな国際物流ターミナルの整備により、旧コンテナターミナルから移転するコンテナ貨物や一般貨物の安定的な輸送かつ効率的な物流の確保に寄与する。

【新港地区の取扱貨物量（実績）】



（資料）下関港統計データを基に作成

【新港地区の利用状況】



しものせきこうかいがん

下関港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

継続　港空－2

■ 事 業 概 要

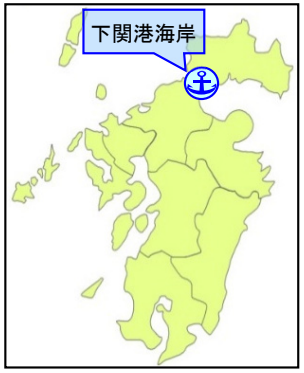
○下関港海岸は、背後に幹線道路や住宅地等の市街地が広がるとともに企業、事業所が臨海部に集積しており、平成11年の台風18号で発生した高潮によって背後地域が甚大な浸水被害を受けた。

○長府・壇ノ浦地区及び山陽地区において、護岸等の整備を行い、台風襲来等に伴う高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

事業内容

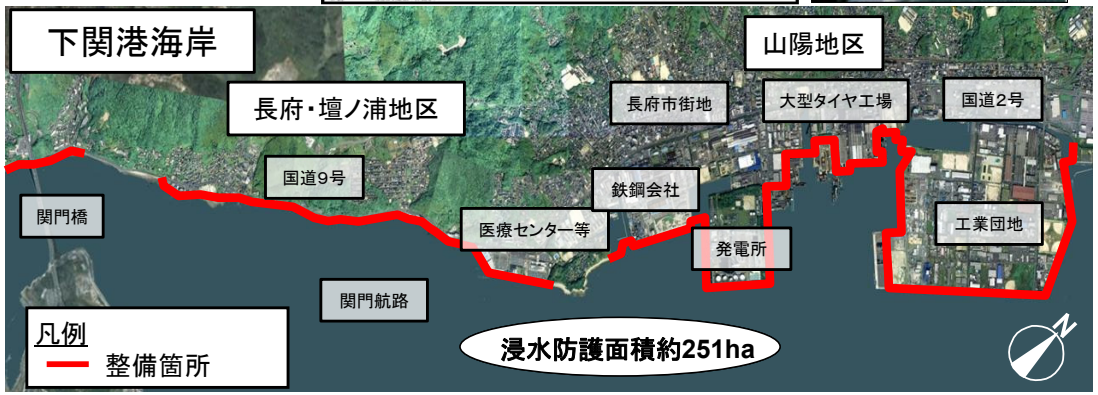
○令和5年度配分額（事業費）：12.2億円
○令和5年度の実施内容　　：護岸等の整備

【過去の被害状況】









整備効果

○護岸等の整備により、背後の幹線道路や住宅地、企業、事業所等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、立地企業の経済的損失を回避する。

【山陽地区護岸整備の状況】



きたきゅうしゅうこう　ひびきなだひがし

北九州港響灘東地区国際物流ターミナル整備事業（水深10m）【直轄】

継続　港空－3

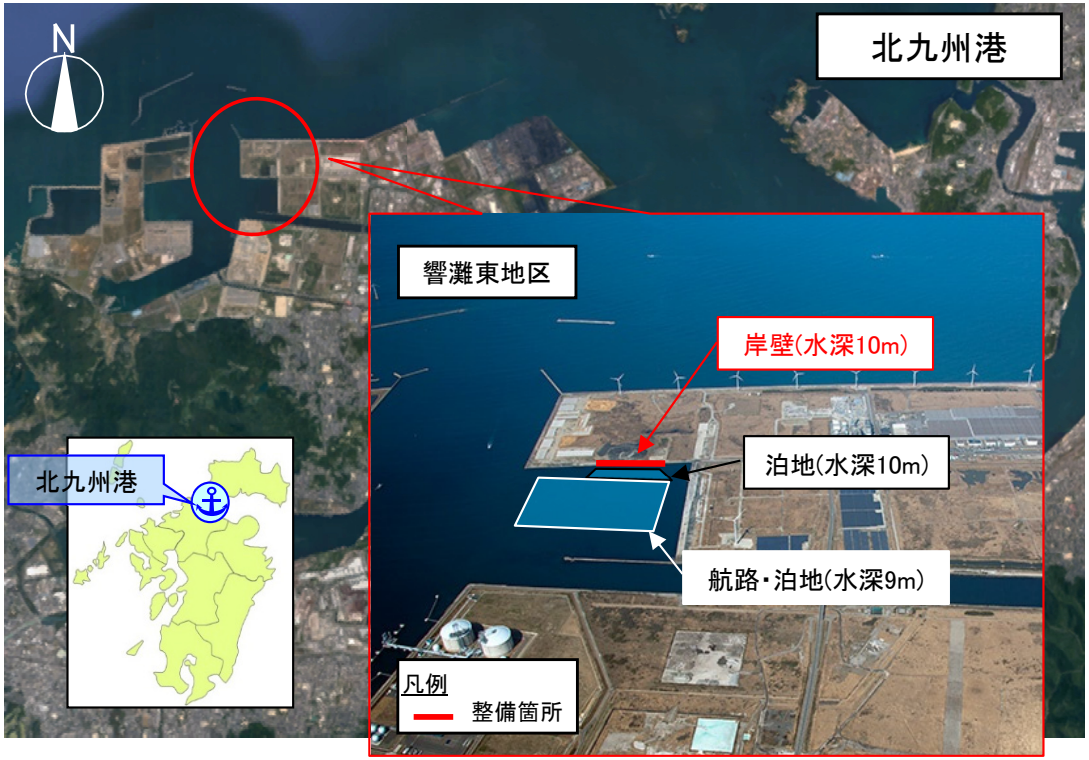
■ 事 業 概 要

〇洋上風力発電設備は、発電効率向上や設置コスト削減のため大型・重量化傾向にある一方、国内ではそれらを扱うことができる高い耐荷重性を備えた施設が存在しないため、洋上風力発電の導入拡大の妨げとなっている。

〇北九州港響灘東地区において、高い耐荷重性を備えた岸壁等（基地港湾）の整備を行い、洋上風力発電の導入促進等を図る。

事業内容

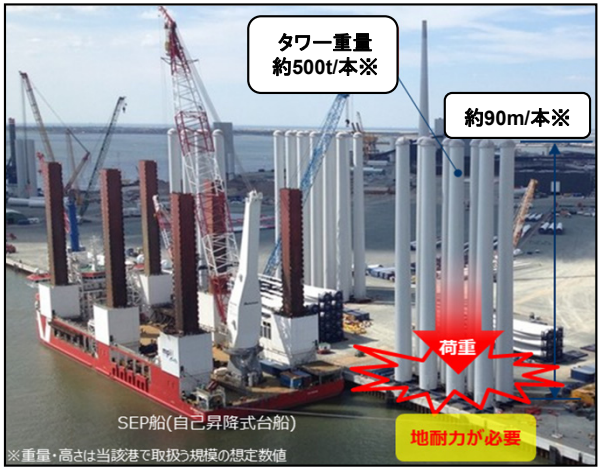
〇令和5年度配分額（事業費）：16.7億円
〇令和5年度の実施内容　　：岸壁の整備



整備効果

〇基地港湾整備により、従来の港湾では取扱困難な大型重量物となる洋上風車部材の搬入・仮組立（プレアッセンブリ）・積出しが可能となり、洋上風力発電設備の効率的な輸送・建設が可能となる。

【基地港湾のイメージ】



海上輸送

【海上建設サイトでの洋上風力発電設備の設置イメージ】



博多港（はかたこう） 予防保全事業【直轄】

継続　港空－4

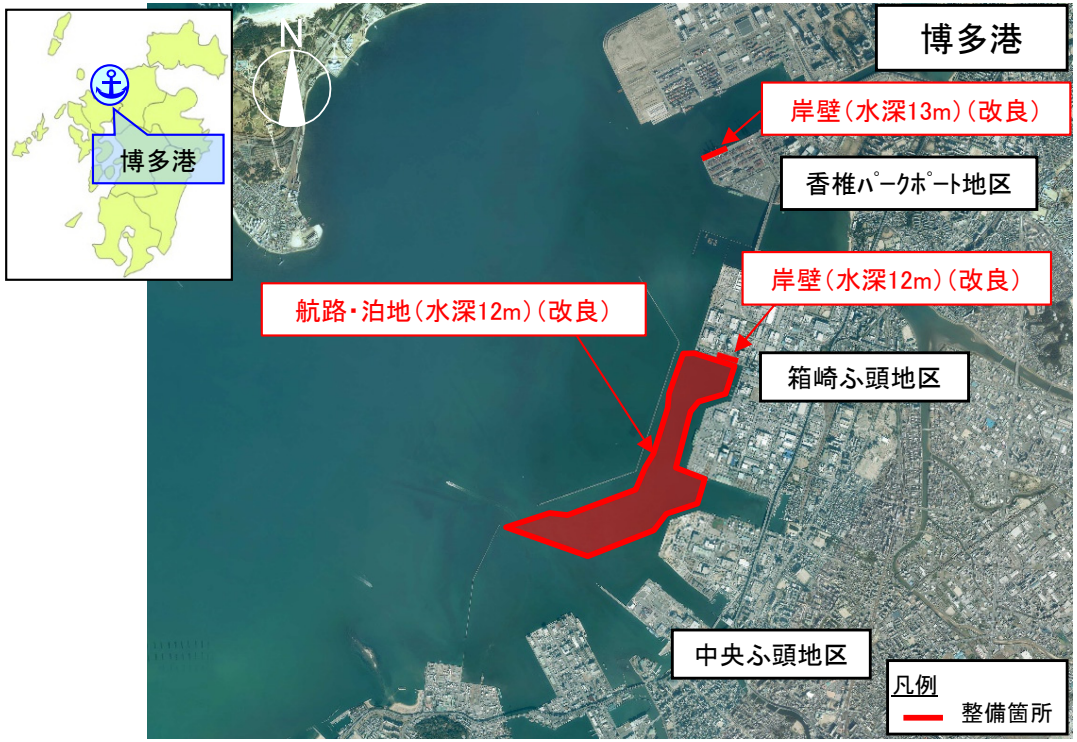
■ 事 業 概 要

○博多港香椎パークポート地区、箱崎ふ頭地区の既存岸壁では、上部工のひび割れの発生等の老朽化が進行しており、箱崎ふ頭地区の既存の航路・泊地では、経年的な埋没により、浅所箇所が出現している状況。

○上記の施設において、老朽化対策（岸壁改良、浅所浚渫）を実施し、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：24.8億円
○令和5年度の実施内容　　：岸壁及び航路・泊地の改良



整備効果

○予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（岸壁改良、浅所浚渫）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワー クを維持する。

上部工下面 錆汁状況



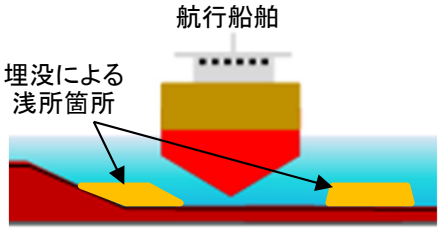
香椎ﾊﾟｰｸﾎﾟｰﾄ地区
岸壁（水深13m）

上部工下面 鉄筋腐食状況



箱崎ふ頭地区
岸壁（水深12m）

老朽化対策
（岸壁改良）



箱崎ふ頭地区
航路・泊地（水深12m）

老朽化対策
（浅所浚渫）

港湾施設利用の
安全性の確保

海上交通ネット
ワークの維持

※図はイメージ

苅田港（かんだこう） 国際物流ターミナル整備事業（水深13m）【直轄】

継続　港空－5

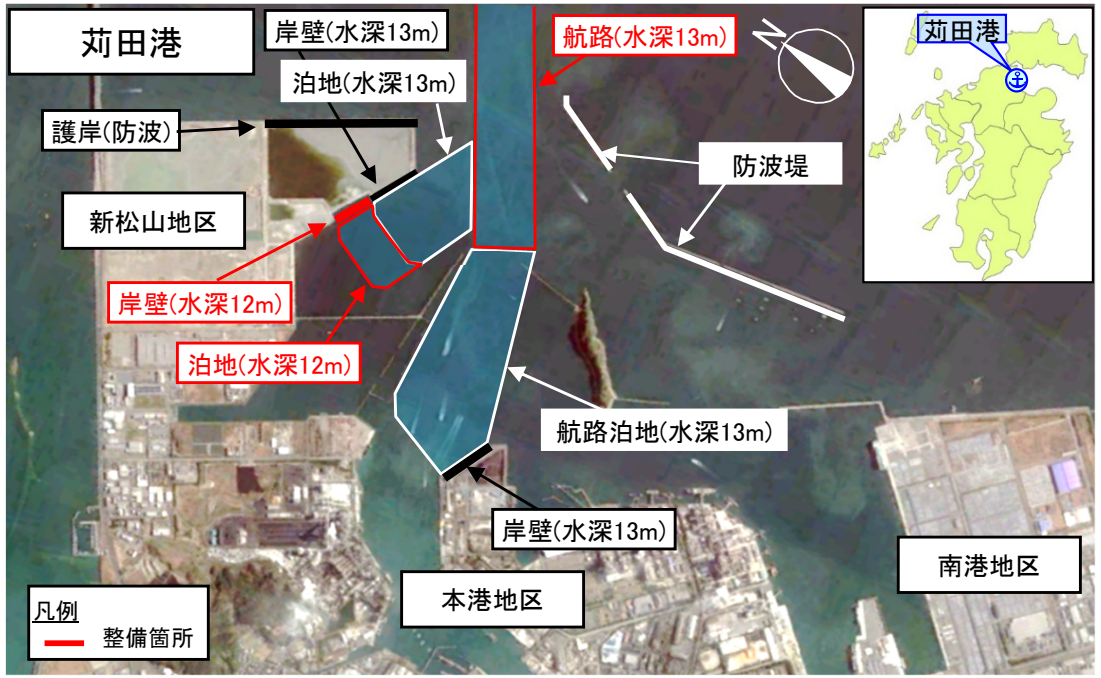
■ 事 業 概 要

〇苅田港の背後には、発電企業やセメント関連企業等が立地しているとともに、近年ではバイオマス発電企業等が進出するなど、新たな貨物の取り扱いが開始されている一方で、背後企業が取り扱う貨物需要の増加とそれに伴う船舶の大型化に対応できない状況である。

〇苅田港において、国際物流ターミナル（岸壁、航路等）の整備を行い、船舶の大型化等に対応する。また令和5年度からは、バイオマス発電企業の新たな操業開始や背後工業団地の分譲を受けた新規取扱貨物の増加に対応するため、新松山地区の整備済みの岸壁（水深13m）に隣接した箇所に岸壁(水深12m)及び泊地（水深12m）を追加整備する。

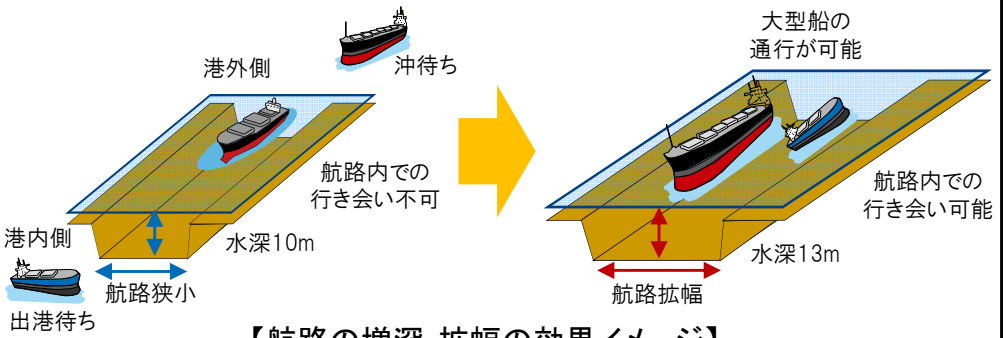
事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：17.0億円
〇令和5年度の実施内容　　：航路、泊地、岸壁の整備



主な整備効果

〇大型岸壁の整備や航路の拡幅増深を行い、船舶の大型化に対応することで、非効率な輸送が解消され、企業の国際競争力の強化や地域経済の活性化が期待される。



【航路の増深･拡幅の効果イメージ】

〇新たな岸壁整備により、大型船での大量輸送が可能となり、効率的な物流が実施されることで、既存産業の活力の維持･向上及び新規分譲用地への新規企業の立地等が期待され、地域経済の活性化や新たな雇用創出が期待される。



【バイオマス燃料の荷役状況】

三池港（みいけこう） 予防保全事業【直轄】

継続　港空－6

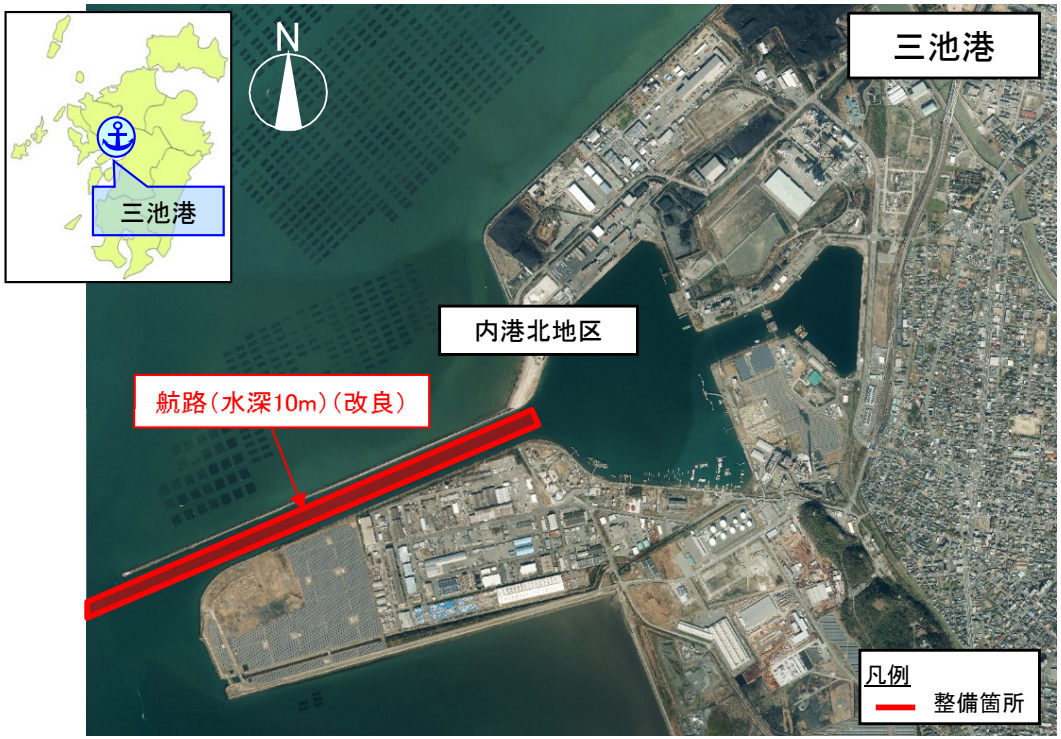
■ 事 業 概 要

〇三池港内港北地区の航路（水深10m）では、経年的な埋没により、浅所箇所が出現している状況。

〇内港北地区の航路（水深10m）において、老朽化対策（浅所浚渫）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

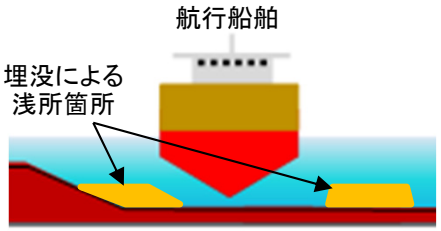
事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：5.2億円
〇令和5年度の実施内容　　：航路の改良



整備効果

〇予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（浅所浚渫）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。



内港北地区
航路（水深10m）

※図はイメージ

老朽化対策
（浅所浚渫）

港湾施設利用の安全性の確保

海上交通ネットワークの維持

ふくおか　くうこう
福岡空港滑走路増設事業【直轄】

継続　港空－7

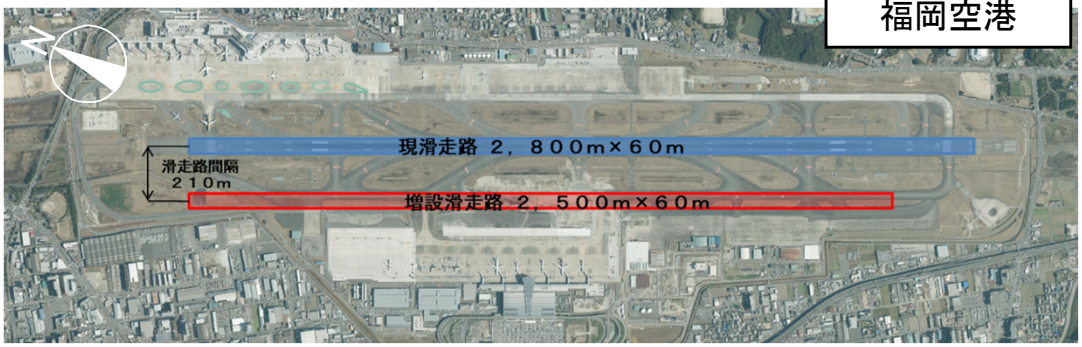
■ 事 業 概 要

〇福岡空港は、滑走路1本の空港としては国内で最も利用されている空港であるが、ピーク時間帯を中心に混雑や遅延が常態化。将来的にはさらに需要が増加すると予想されており、滑走路1本のままでは将来の航空需要に対応できない恐れがある。

〇福岡空港において、現滑走路の西側に2本目の滑走路を増設し、混雑や遅延を解消するとともにアジア等の旺盛な需要を取り込む等、航空ネットワークの拡充を図る。

事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：105.3億円
〇令和5年度の実施内容　　：用地造成、滑走路新設、誘導路新設等の整備

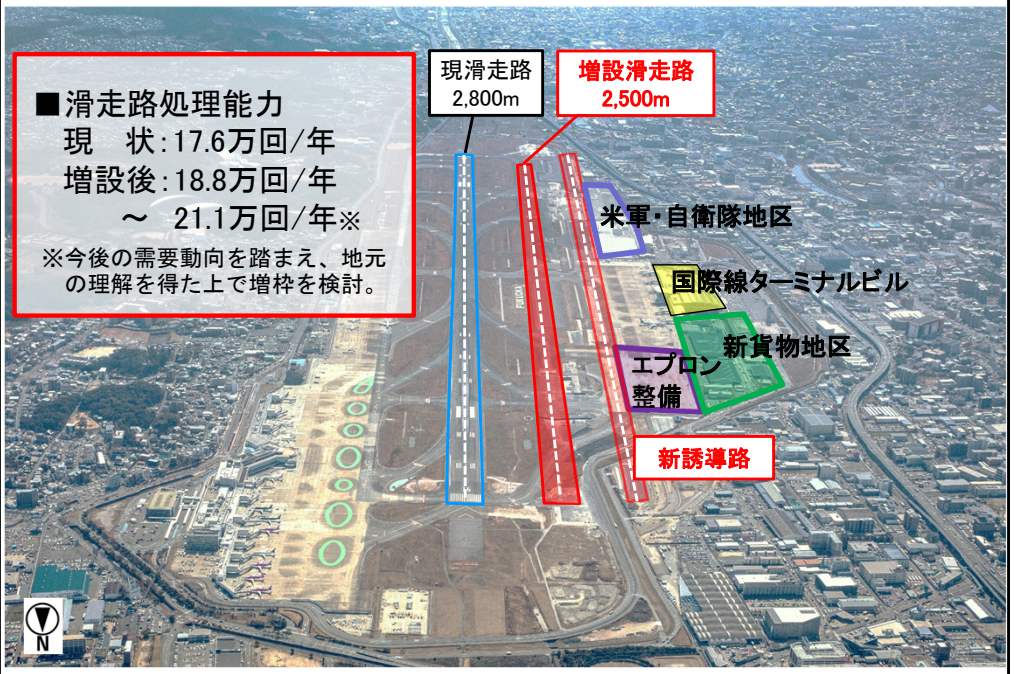






整備効果

〇滑走路の増設整備により、空港の処理能力が向上し、混雑・遅延の解消及び将来の航空需要増加への対応が可能となり、福岡・九州の経済・国際交流の発展に寄与する。



北九州空港滑走路延長事業【直轄】

新規　港空－8

■ 事 業 概 要

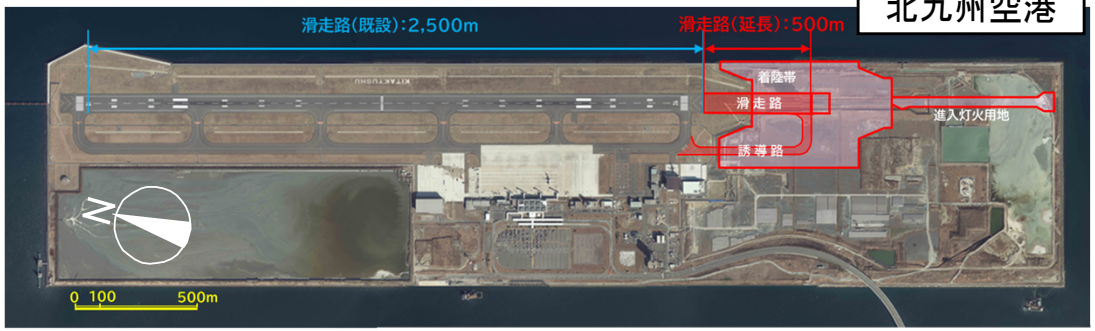
○北九州空港では、航空貨物需要の増加に伴い、国際貨物取扱量が増加傾向にあるが、滑走路長（現在2,500m）の不足により、北米や欧州等に貨物を輸送するための長距離国際貨物定期便の就航に対応できない状況である。

○北九州空港において、長距離国際貨物定期便の就航に対応した滑走路長（必要滑走路長3,000m）を確保するため、現滑走路（現滑走路長2,500m）の南側に滑走路の延長整備（500m延長）等を行い、航空貨物輸送拠点の形成促進を図る。

事業内容

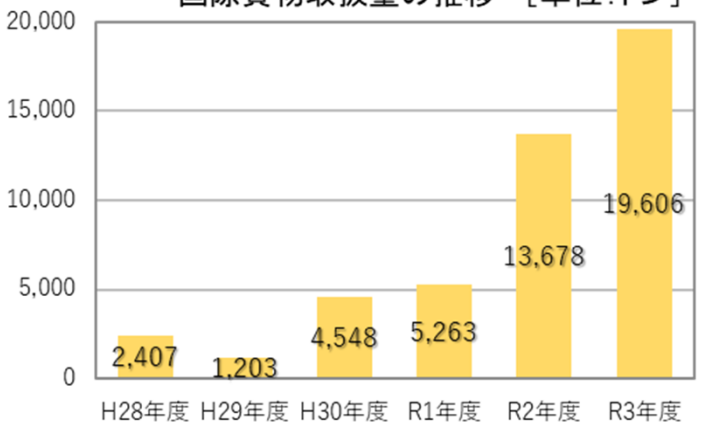
○令和5年度配分額（事業費）：9.8億円
○令和5年度の実施内容　　：設計、用地造成、滑走路等の整備

北九州空港





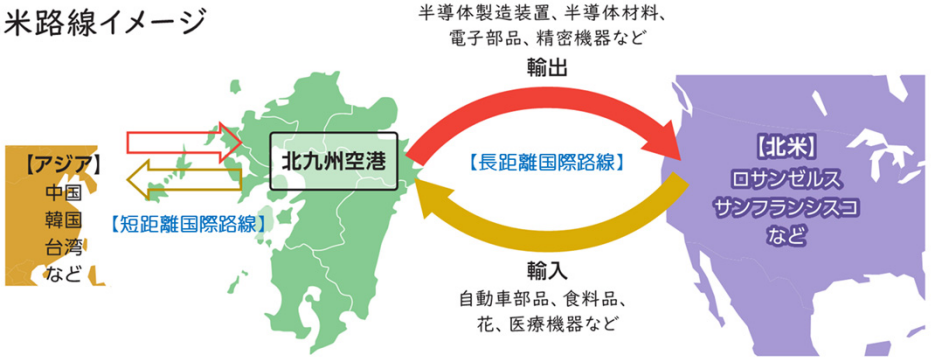
国際貨物取扱量の推移　［単位：トン］



整備効果

○北九州空港に長距離国際貨物定期便の就航が可能となることで、関東や関西の空港を利用していた北米・欧州向け貨物の陸上輸送の負担等が軽減され、背後圏産業の国際競争力の向上が期待される。

北米路線イメージ





【現在】滑走路長：2,500m　→　【将来】滑走路長：3,000m（500m延長）

長距離運航に必要な貨物や燃料等の積載が可能

唐津港東港地区複合一貫輸送ターミナル改良事業（耐震）（水深9m）【直轄】

継続

■ 事 業 概 要

○唐津港東地区では、老朽化対策と合わせた耐震強化岸壁の整備進捗により、貨物の取り扱いやクルーズ船の寄港が進む一方で、航路泊地の整備が完了しておらず、水深が確保出来ていない状況。

○東港地区において、複合一貫輸送ターミナルの航路泊地整備を行うことで、国内貨物の輸送効率化、大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応する。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：1.3億円
○令和5年度の実施内容　　：航路泊地の整備



主な整備効果

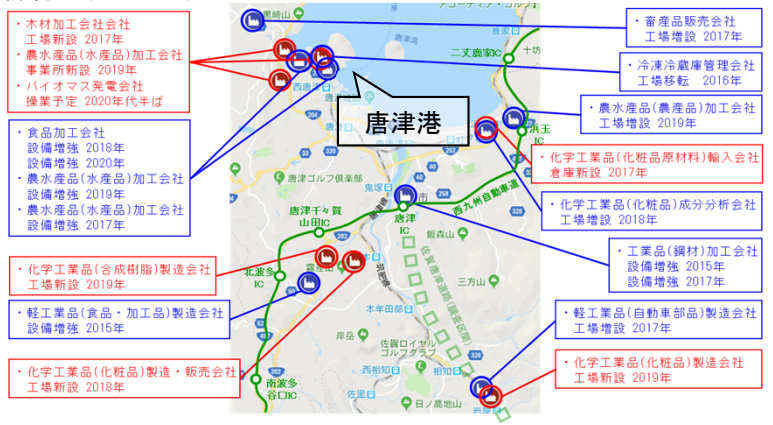
○施設の老朽化対策と合わせて、大規模地震に対応した施設を整備したことで、貨物の取り扱いやクルーズ船の寄港が進み、輸送効率化による輸送コストの削減、国際観光収益の増加等を実現し、地域産業の競争力の確保・強化に寄与している。

岸壁供用後の利用状況





新規企業立地の促進



企業立地等による投資額（約140億円）および雇用者（約400人）の増加が期待される

（出典：唐津市ホームページ、企業ヒアリング等を基に作成）

佐世保港（させぼこう） 予防保全事業【直轄】

継続　港空－10

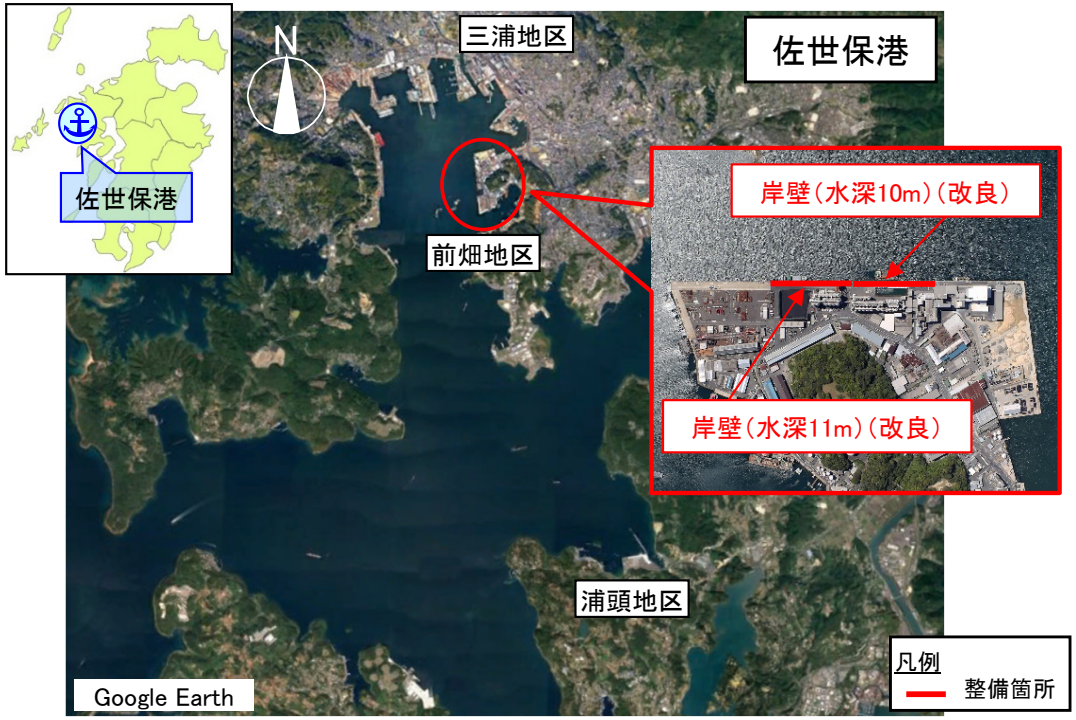
■ 事 業 概 要

○佐世保港前畑地区の既存岸壁では、本体鋼管杭の腐食、本体コンクリートの剥離の発生等、老朽化が進行している状況。

○前畑地区の既存岸壁において、老朽化対策（岸壁改良）を実施し、港湾施設の利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：2.3億円
○令和5年度の実施内容　　：岸壁の改良



整備効果

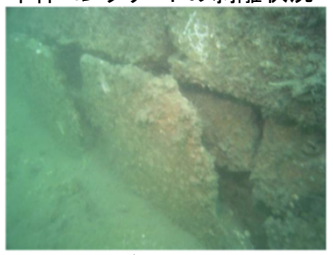
○予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（岸壁改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。

本体鋼管杭の腐食状況



前畑地区
岸壁（水深10m）

本体コンクリートの剥離状況



前畑地区
岸壁（水深11m）

老朽化対策
（岸壁改良）

港湾施設利用の安全性の確保

海上交通ネットワークの維持

厳原港（いづはらこう）予防保全事業【直轄】

継続　港空－11

■ 事 業 概 要

〇厳原港厳原地区の防波堤は、港内静穏度確保に重要な施設であるが、消波工の沈下等による高波浪時の堤体の安定性が低下し、老朽化が進行している状況。

〇厳原地区の既存防波堤において、老朽化対策（防波堤改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：1.5億円
〇令和5年度の実施内容　　：防波堤の改良



整備効果

〇予防保全型維持管理の観点から、老朽化対策（防波堤改良）を実施することで、港湾施設利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。

消波工　沈下状況



防波堤（北）　越波状況



厳原地区
防波堤（北）

老朽化対策
（防波堤改良）

港湾施設利用の安全性の確保

海上交通ネットワークの維持

熊本港夢咲島地区国内物流ターミナル整備事業（水深7.5m）【直轄】

（くまもとこう　ゆめさきじま）

■ 事　業　概　要

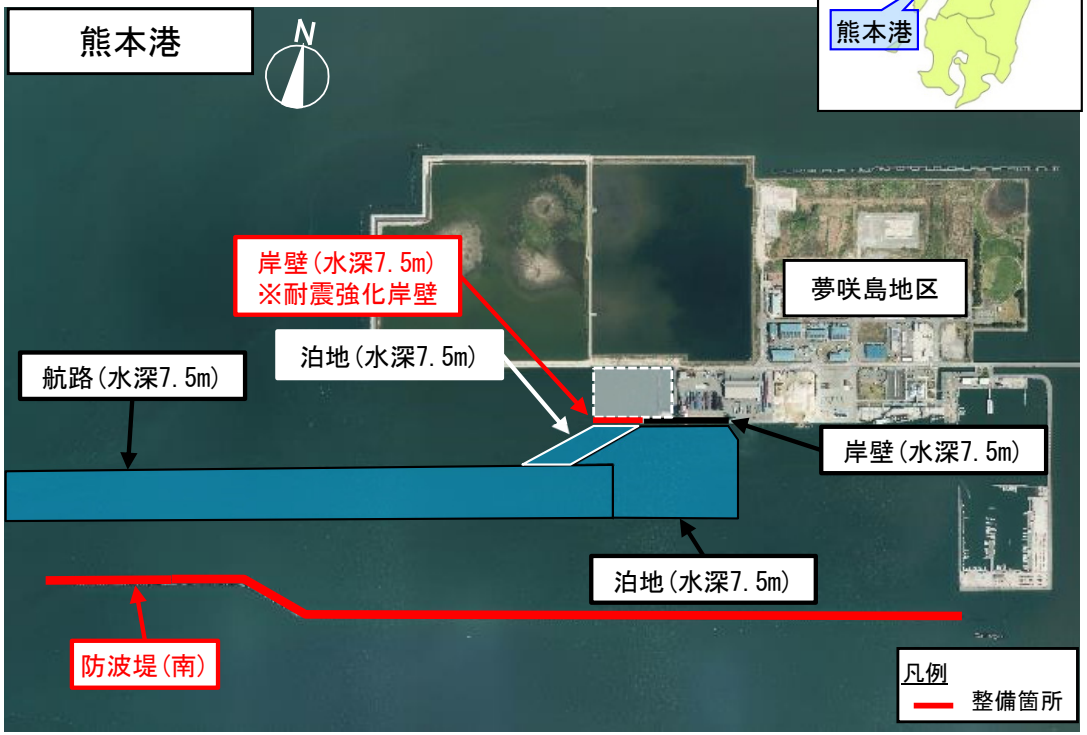
〇熊本港夢咲島地区では、岸壁整備の進捗等により、コンテナ貨物の取扱量が増加している一方、防波堤整備が完了しておらず、港内静穏度が確保されていない状況。

〇夢咲島地区において、残りの防波堤整備を行い、港内静穏度を確保する。また令和5年度からは、半導体企業関連企業の新たな進出等を受けた新規コンテナ取扱貨物の増加とともに大規模災害発生時の緊急物資輸送船舶の受け入れに対応するため、整備済みの岸壁（水深7.5m）に隣接した箇所に耐震強化岸壁(水深7.5m)及び泊地（水深7.5m）を追加整備する。

事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：6.8億円
〇令和5年度の実施内容　　：防波堤、岸壁の整備

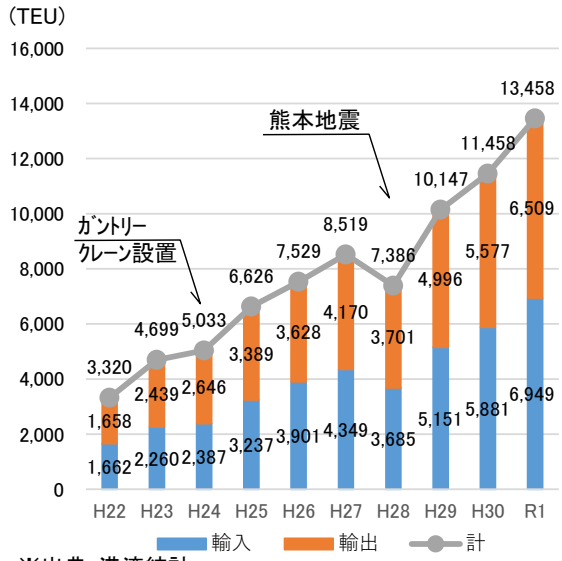




整備効果

〇熊本港整備の進捗、コンテナターミナルの機能充実に伴い、熊本港における外貿コンテナ貨物の取扱量が増加しており、都市圏背後に立地する企業の輸送拠点として熊本経済の発展に寄与している。
〇また、大規模地震に対応した施設を整備することにより、災害発生時の緊急物資輸送船の受け入れが可能となり、防災機能の強化に資する。

【熊本港外貿コンテナ取扱量の推移】



※出典：港湾統計



コンテナの積載（熊本港）



緊急物資輸送船舶入港例（八代港）

八代港外港地区国際物流ターミナル改良事業（水深14m）【直轄】

継続　港空－13

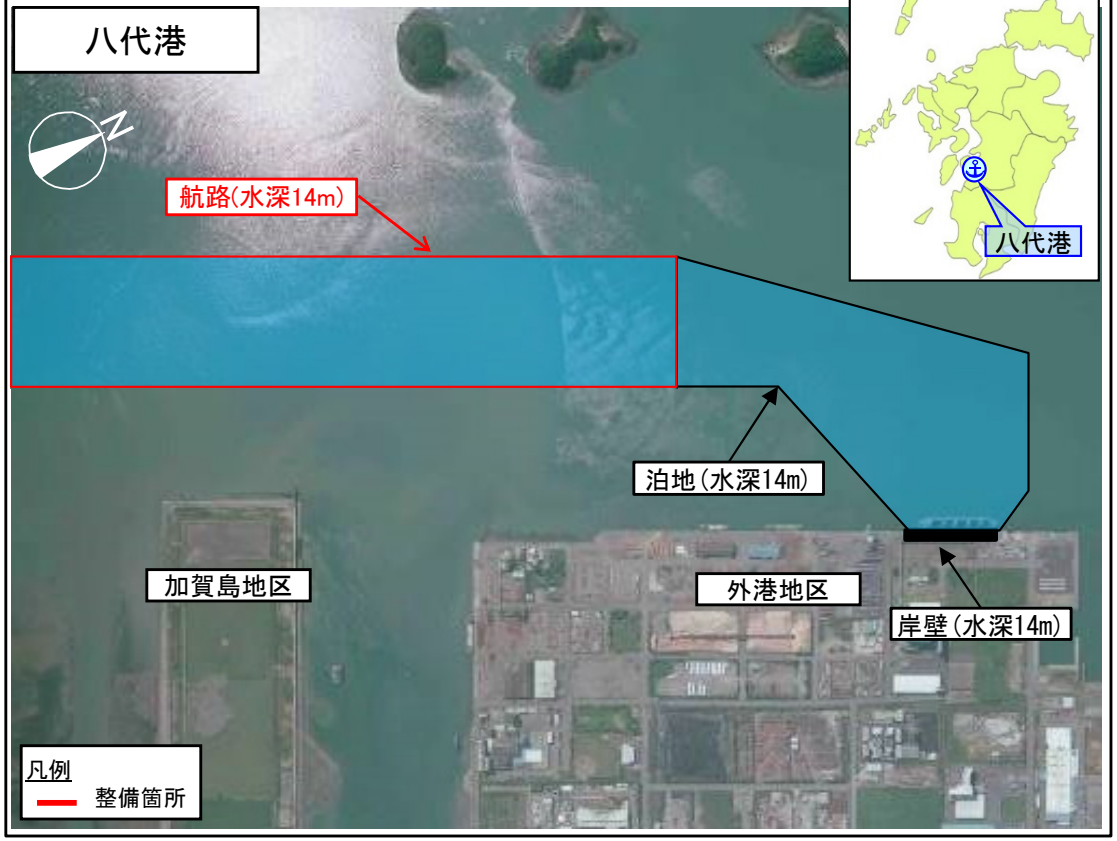
■ 事 業 概 要

〇八代港は、穀物飼料の原料輸入及び飼料生産・供給拠点として、中九州地域を中心とした畜産業を支えている一方、穀物運搬船の大型化に対応できる施設がないため、喫水調整により入港する等、非効率な輸送を強いられている。

〇外港地区において、国際物流ターミナルの整備（水深12mを水深14mへ増深）を行うことで、船舶の大型化に対応する。

事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：17.9億円
〇令和5年度の実施内容　　：航路の整備



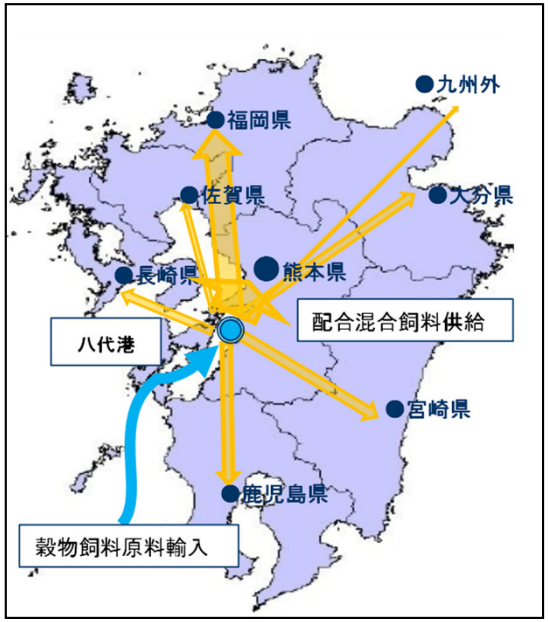
整備効果

〇船舶の大型化に対応した施設を整備することで、一括大量輸送による輸送コストの削減を実現し、畜産業の国際競争力確保に寄与する。

【喫水調整の状況】



【配合・混合飼料供給先（イメージ）】



3万トン以上の入港船舶は喫水調整により入港

海洋環境整備事業【直轄】

継続　港空－14

■ 事 業 概 要

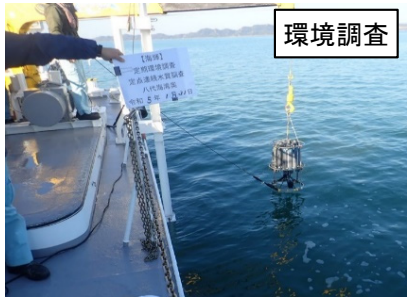
○有明・八代海、瀬戸内海（周防灘）において、海洋環境整備船による浮遊ゴミ等の回収作業を実施する。海洋環境整備船により担務海域の環境調査を実施し、海域環境の変化を把握する。

○また、管轄区域以外で流木等航行障害物の大量漂流や油流出事故等が発生した場合は、関係機関からの要請に基づき、大型油回収船又は海洋環境整備船を緊急出動させ、当該漂流物等を回収する。

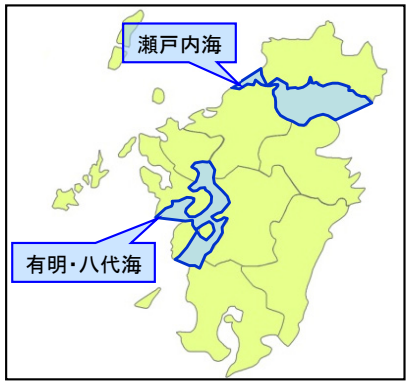
事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：7.3億円
○令和5年度の実施内容　　：浮遊ゴミ等の回収、環境調査

瀬戸内海、有明・八代海


環境調査


環境整備船による漂流ごみ回収




多関節クレーンによる流木の回収

整備効果

○船舶航行の安全確保および海域環境の保全を図る。


スキッパーによる回収ゴミ


漁協との連携回収


回収ゴミ


連携回収ゴミ（陸揚げ）

おおいたこう おおざいにし

大分港大在西地区複合一貫輸送ターミナル整備事業（水深9m）【直轄・補助】

継続

港空－15

■ 事 業 概 要

○大分港では、近年、RORO貨物が増加している一方で、既存岸壁の水深不足により、RORO船は喫水調整を強いられているとともに、シャーシ置場が点在していることで荷役時の横持ちが発生する等、非効率な荷役を余儀なくされている。

○大在西地区において、複合一貫輸送ターミナルの整備を行うことで、RORO貨物の増加に対応するとともに、輸送・荷役の効率化を図る。

事業内容

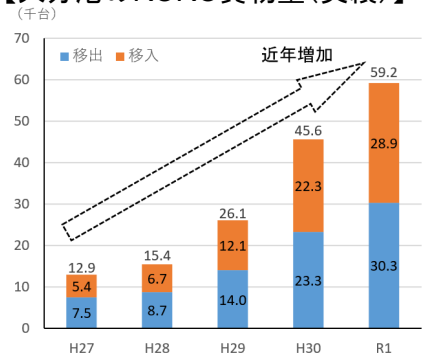
○令和5年度配分額（事業費）：4.6億円

○令和5年度の実施内容　　：岸壁、泊地、防波堤、道路の整備



主な整備効果

【大分港のRORO貨物量（実績）】



○岸壁等の整備により喫水調整が解消され、1隻 の船舶で輸送できる貨物量が増加し、海上輸送が効率化する。

○ふ頭用地の整備により点在するRORO貨物を集約化し、横持ちが解消して荷役が効率化する。

【既存のシャーシ置場の状況】



岸壁背後にふ頭用地（シャーシ置場）を整備することで荷役が効率化

大分港海岸（おおいたこうかいがん） 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

継続　港空－16

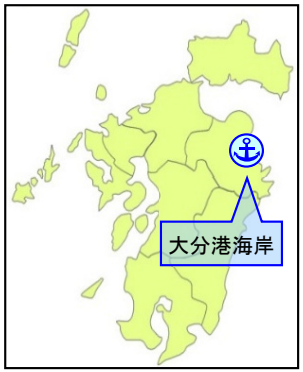
■ 事 業 概 要

○大分港海岸は、県都大分市の市街地と製鉄業や石油化学工業を中核とする臨海工業地帯を防護する海岸線を形成しており、南海トラフ地震・津波の切迫性に加え、過年度の台風時の高波・高潮によって背後地域の浸水被害を受けた。

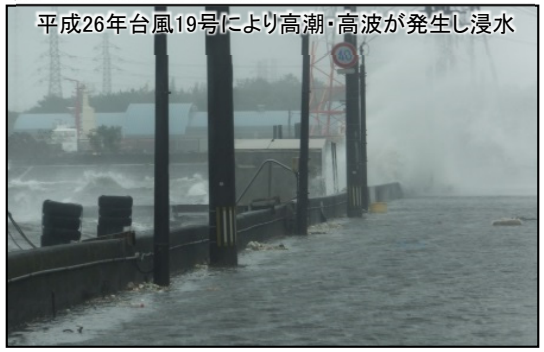
○住吉地区、津留地区、乙津地区及び鶴崎地区において、護岸等の整備を行い、南海トラフ地震・津波や台風襲来時等に伴う高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：11.6億円
○令和5年度の実施内容　　：護岸（改良）等の整備



【過去の被害状況】

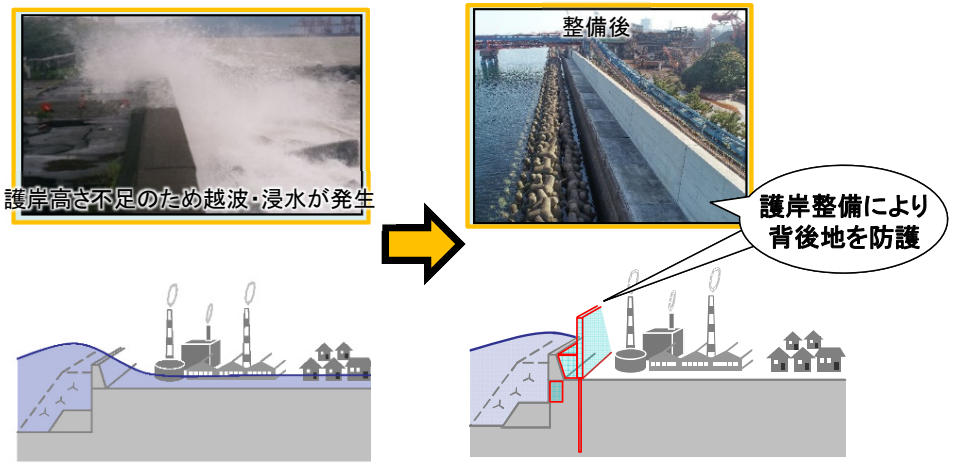




整備効果

○護岸等の整備により、市街地、臨海工業地帯等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、立地企業の経済的損失を回避する。

【津留地区護岸整備の状況】



細島港工業港地区複合一貫輸送ターミナル整備事業（水深9m）【直轄】

継続　港空－17

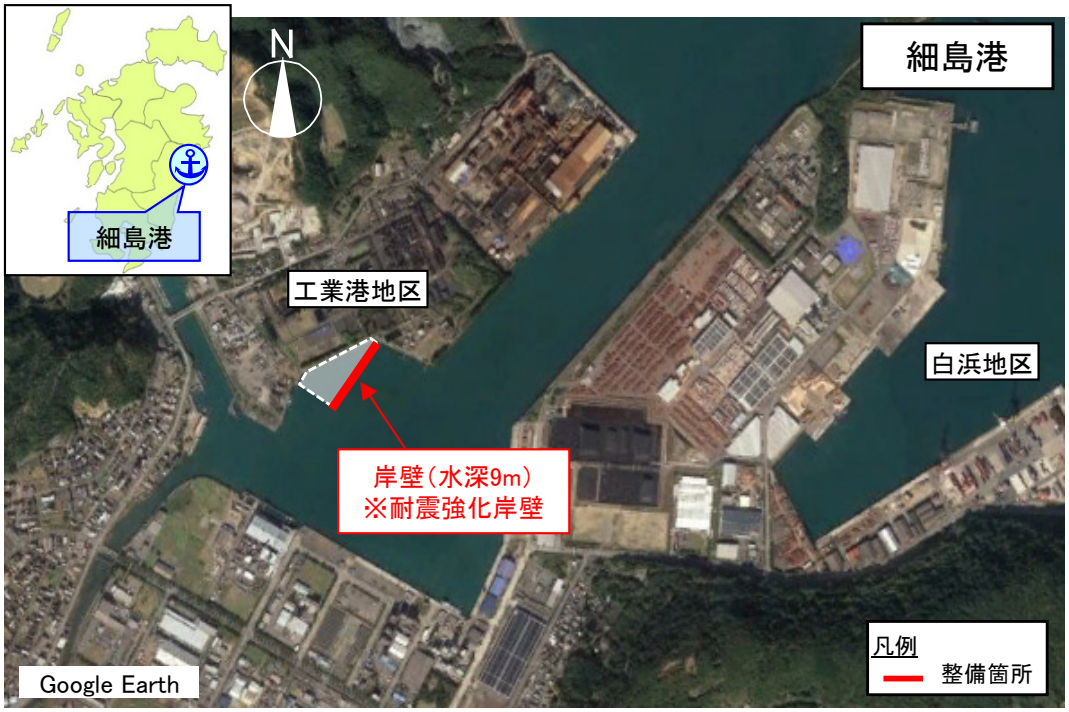
■ 事 業 概 要

〇細島港では、既存岸壁の水深不足により、大阪向けのRORO船が喫水調整による運航を余儀なくされているとともに、既存岸壁の延長不足により、東京向けの航路はRORO船が今後大型化した場合に細島港に寄港できなくなる。細島港背後の化学関連企業等が設備増強を進めている中、既存岸壁では更なる貨物需要の増加に対応できない。

〇工業港地区において、複合一貫輸送ターミナルの整備を行うことで、RORO船の喫水調整の解消や大型新造船の就航を可能とし、背後企業の貨物需要に対応する。

事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：3.2億円
〇令和5年度の実施内容　　：岸壁の整備

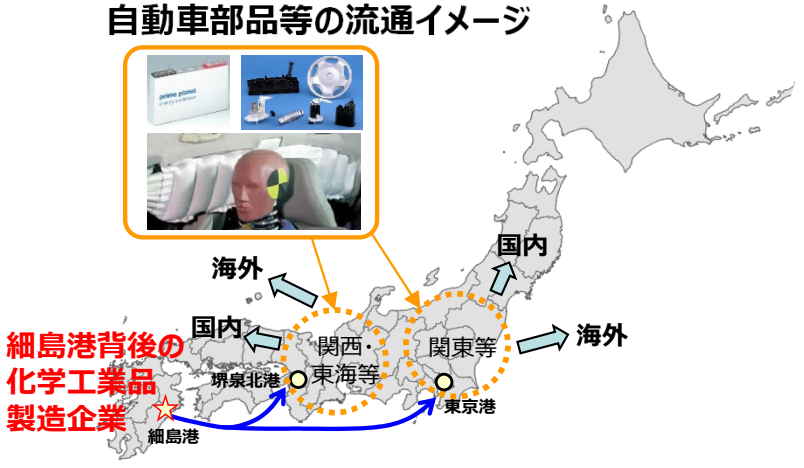


主な整備効果

〇岸壁等の整備により、RORO船の喫水調整の解消や大型新造船の就航が可能となる。これにより、背後企業の競争力強化と化学工業品の安定的な国内供給が可能となり、それら製品を利用する自動車産業等の生産基盤の強化や国際競争力が向上する。

地域の化学工業の振興及び化学工業品の安定的な国内供給

細島港背後企業の化学工業品を使用した自動車部品等の流通イメージ



あぶらつこう ひがし
油津港東地区国際物流ターミナル整備事業（水深12m）【補助】

継続　港空－18

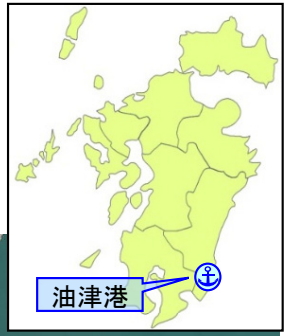
■ 事 業 概 要

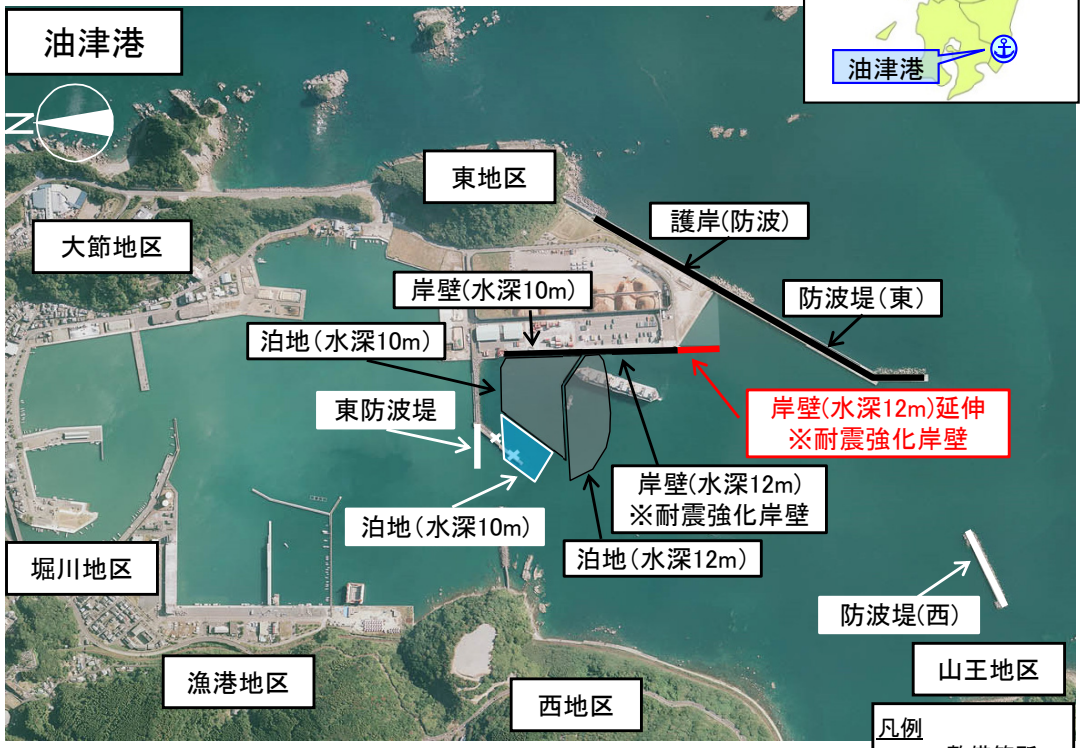
〇油津港東地区では、宮崎県南地域の産業関連物資の輸送効率化に資するため物流ターミナルの整備を進めており、防波堤整備が完了しておらず港内静穏度が確保されていない状況。

〇東地区においては、残りの防波堤整備を行い、港内静穏度を確保する。また、令和5年度からは、貨物需要に対応した船舶の大型化による船舶航行の安全性の確保、物流機能の効率化を図るため、岸壁（水深12m）延伸を追加整備する。

事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：3.0億円
〇令和5年度の実施内容　　：岸壁の整備





整備効果

〇国際物流ターミナルの整備により岸壁（水深12m)を延伸することで、同時接岸時の係船索の交差による不安全な係留の解消や沖待ち解消による物流機能の効率化に寄与する。

＜同時接岸の課題①＞



＜同時接岸の課題②＞



岸壁延伸

同時接岸時の安全性確保・貨物船の待避解消

せんだいこう　からはま
川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業（水深12m）【直轄】

継続　港空－19

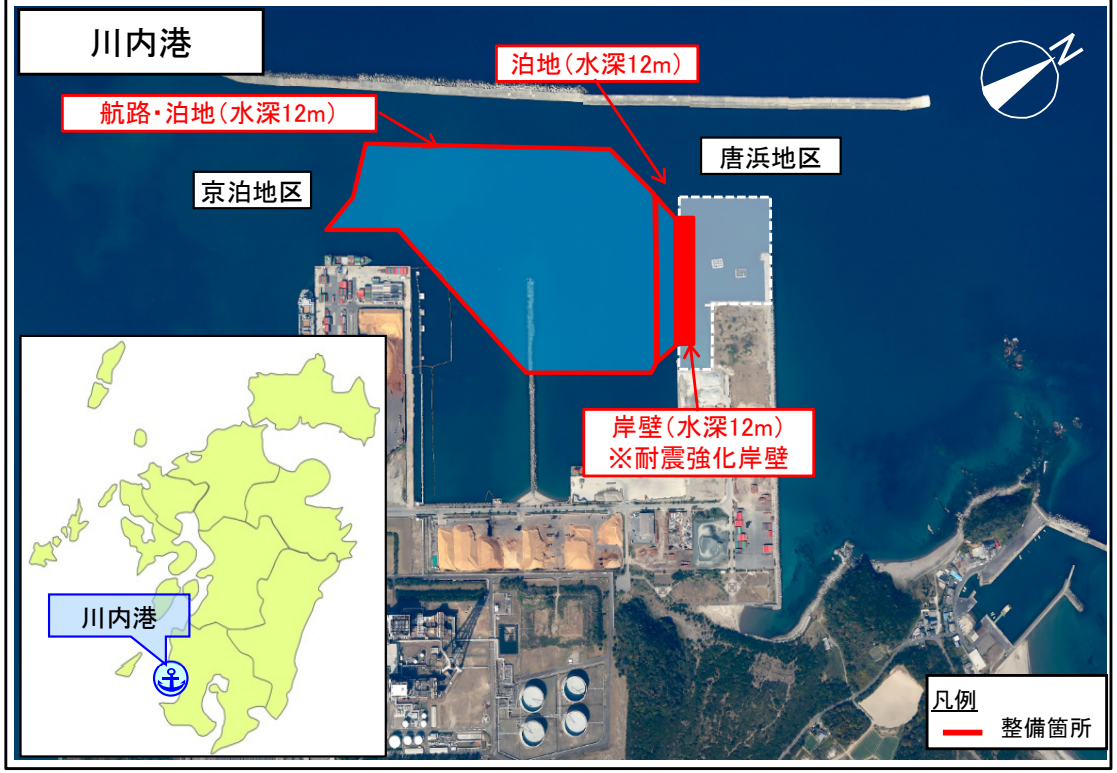
■ 事 業 概 要

○川内港は、背後産業の原材料や製品等を取り扱う北薩地域の物流拠点として重要な役割を果たしている。また、川内港背後圏の木材素材生産量は増加傾向であり、最寄りの川内港からの林産品輸出の要請があるが、岸壁の制約から、非効率な輸送を強いられている。

○唐浜地区において、国際物流ターミナルの整備を行うことで、川内港背後圏の林産品の輸出量増加等に伴う運搬船の大型化に対応する。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：4.9億円
○令和5年度の実施内容　　：岸壁、泊地、航路・泊地の整備

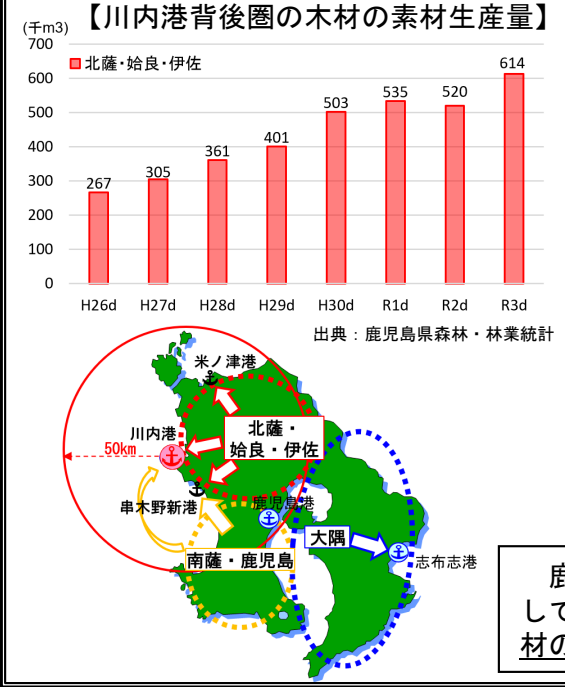


整備効果

○本事業の実施により、船舶が大型化され、1回あたりに輸送できる貨物量が増加し、海上輸送が効率化する。また、近傍の川内港を利用できることにより、輸送距離が短縮され、陸上輸送が効率化する 。

○本事業の実施により、木材輸出が促進されることで、適切な木材の利用が図られ、地域における林業の振興に寄与する。

【川内港背後圏の木材の素材生産量】



【川内港での原木積み込み状況】



鹿児島県は豊富な森林資源を有しており、特に川内港背後圏の木材の素材生産量は増加傾向

鹿児島港臨港道路整備事業（鴨池中央港区線）【直轄】

継続　港空－20

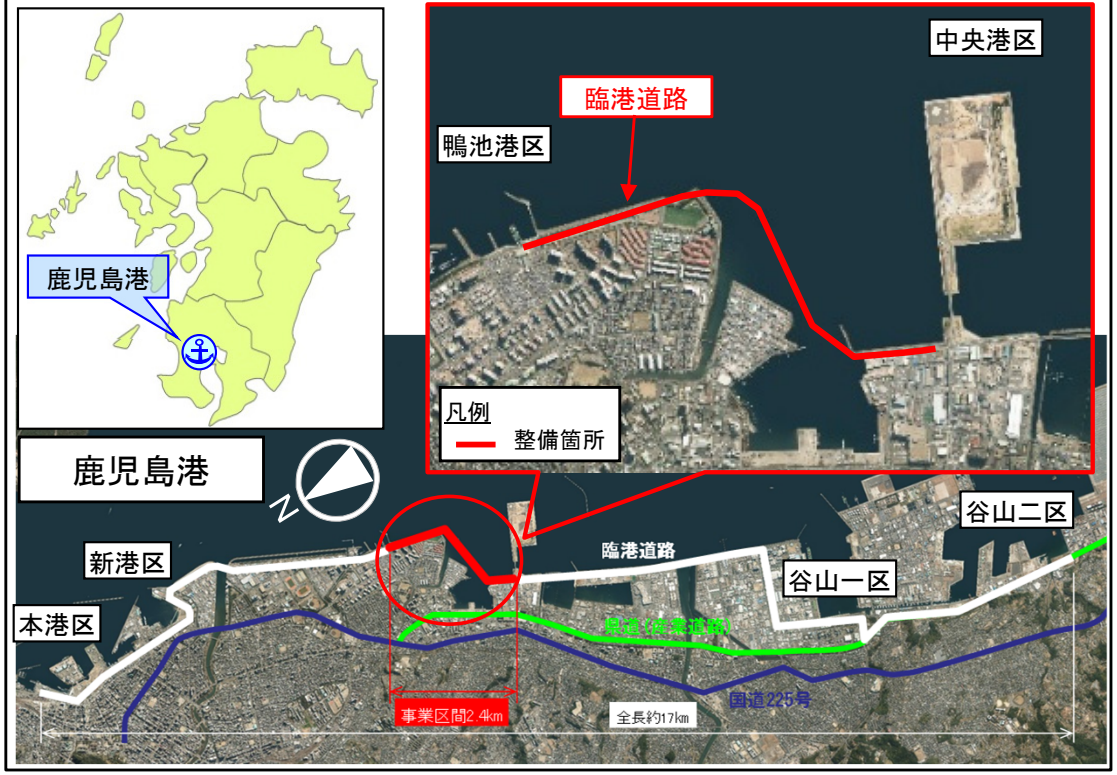
■ 事 業 概 要

○鹿児島港は、鹿児島市の南北約20kmの範囲におよび、離島との基地港として島民の生活を支えるとともに、地域産業を支える物流拠点として重要な役割を果たしている。一方、港内南北の臨港道路のうち、鴨池港区から中央港区間が未整備で繋がっていない状況となっている。

○鴨池港区から中央港区間において、臨港道路の整備を行うことで、港湾物流のボトルネックを解消し、円滑な港湾物流の確保とともに、市内幹線道路の交通渋滞を緩和する。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：34.6億円
○令和5年度の実施内容　　：臨港道路の整備



主な整備効果

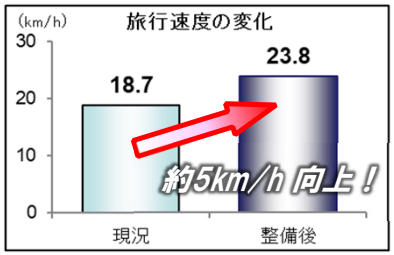
○臨港道路の整備により、交通混雑が緩和することで、円滑な港湾物流の確保と、市内幹線道路の交通渋滞を緩和する。

国道225号線の交通混雑状況



産業道路の交通混雑状況





混雑度の変化

現況		整備後
1.35	⇒	1.09

現況はR1.7月交通量調査結果より
将来はH42交通量推計より

志布志港ふ頭再編改良事業（水深14m）【直轄】

継続　港空－21

■ 事 業 概 要

〇志布志港は、日本屈指の農畜産地帯である南九州地域への飼料等の供給拠点として重要な役割を果たしている。一方で、効率的な輸送体系の構築、既存施設の老朽化への対応及び大規模地震発生後の物流機能の確保等の課題が顕在化している。

〇志布志港において、老朽化した既存施設の対策を兼ねて、耐震性を備えたターミナルの整備を行うことで、大型穀物船による一括大量輸入への転換を促進するとともに、配合飼料原料の輸送効率化等を推進する。

事業内容

〇令和5年度配分額（事業費）：2.6億円
〇令和5年度の実施内容　　：岸壁の整備



主な整備効果

〇岸壁等の整備により、大型穀物船（満載）による一括大量輸入が可能となり、安価で安定的な飼料供給を行うことで、南九州地方における畜産経営の安定化や消費者に対する畜産物の安定供給を図る。

【岸壁（水深14m）を経由した大型穀物船による一括大量輸入のイメージ】



西之表港洲之崎地区複合一貫輸送ターミナル整備事業（水深7.5m）【直轄】

（にしのおもてこう　すのさき）

継続

■ 事 業 概 要

○西之表港のRORO航路は、種子島で唯一の貨物専用定期航路であり、住民の生活物資、生産品等の物資を輸送しているが、既存岸壁の制約により、繁忙期等に積残しが生じており、将来的な船舶大型化にも対応できない状況。また、西之表港では耐震強化岸壁が整備されておらず、地震発生時の種子島及び周辺離島の海上輸送機能の確保が急務となっている。

○洲之崎地区において、複合一貫輸送ターミナルの整備を行い、貨物需要の増大に伴う船舶の大型化に対応するとともに、大規模地震発生時の緊急物資輸送に対応する。

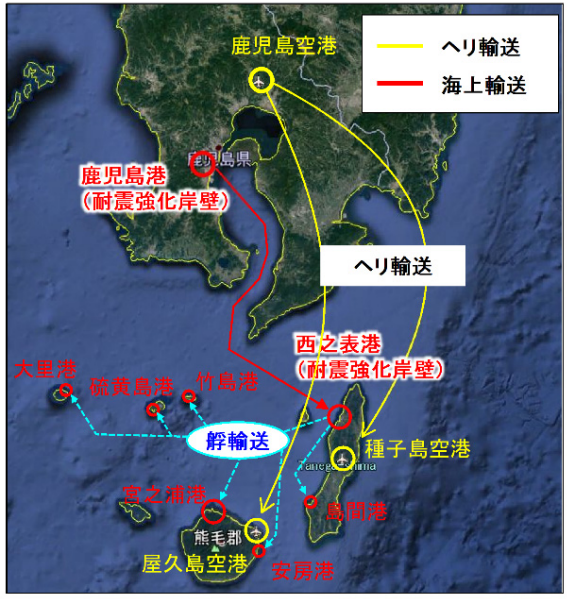
事業内容

○令和5度配分額（事業費）：1.5億円
○令和5年度の実施内容　：岸壁、泊地の整備



主な整備効果

○本事業の実施により、種子島で唯一の耐震強化岸壁が整備されることで、被災時においても海上輸送が可能となり、背後地域の社会・経済活動を維持することが期待される。
○また、種子島のみならず、周辺離島の海上輸送機能が確保され、周辺離島も含めた地域住民の安全・安心が確保される。



【周辺離島が被災した場合の物流の動き（イメージ）】

名瀬港（なぜこう）における港湾整備事業【直轄】

継続　港空－23

■ 事 業 概 要

①立神地区防波堤改良事業

〇名瀬港立神地区の防波堤では、平成30年の台風24号による高波の来襲で、堤体の滑動･転倒等が多数発生した。

〇立神地区の防波堤(沖)において、再度災害防止の観点から対策工事を実施し、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

②予防保全事業

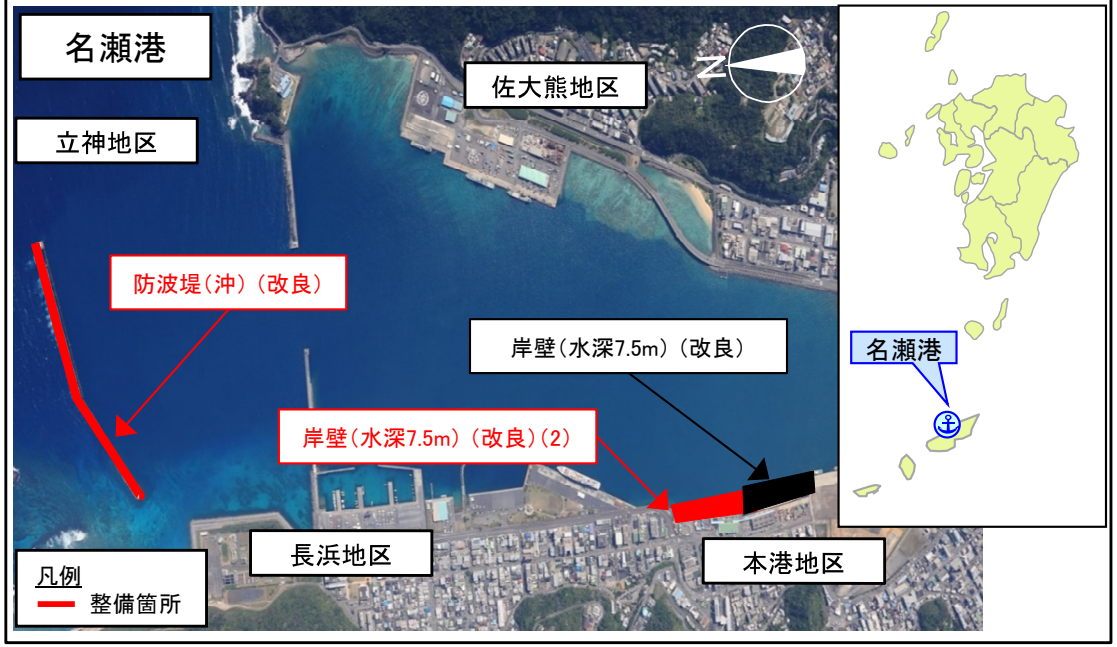
〇名瀬港本港地区の既存岸壁では、本体上部の劣化や舗装のひび割れ等、老朽化が進行している状況。

〇本港地区の既存岸壁において老朽化対策を実施し、港湾施設利用の安全性を確保するとともに、海上交通ネットワークを維持する。

事業内容

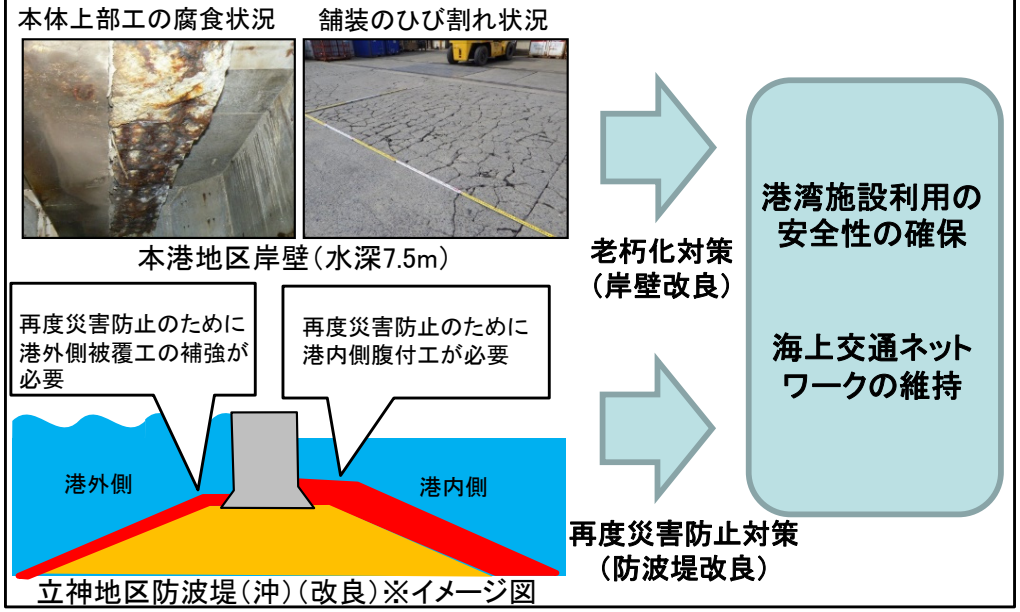
〇令和5年度配分額（事業費）：8.6億円

〇令和5年度の実施内容　　：岸壁、防波堤の改良



整備効果

〇再度災害防止や予防保全型維持管理の観点から対策工事を実施することで、港湾施設の利用の安全性を確保し、海上交通ネットワークを維持する。



いぶすきこうかいがん
指宿港海岸 直轄海岸保全施設整備事業【直轄】

継続　港空－24

■ 事 業 概 要

○指宿港海岸は、温泉観光都市である指宿市の中核となる観光施設や宿泊施設の多くが海岸沿いに集積している中、砂浜の著しい侵食と既設護岸の老朽化により、過年度の台風時の高波・高潮によって背後地域の浸水被害や背後道路の陥没等が発生。

○湯の浜地区において、護岸等の整備を行い、台風来襲等に伴う海浜侵食や高潮・高波による浸水被害を防ぐ。

事業内容

○令和5年度配分額（事業費）：6.6億円
○令和5年度の実施内容　　：離岸堤（改良）等の整備



【過去の被害状況】





整備効果

○護岸等の整備により、観光施設、宿泊施設、市街地等における台風等に伴う高潮・高波の浸水被害を防ぎ、地域住民の生命・財産を防護し、地域産業の経済的損失を回避する。

【湯の浜地区護岸整備の状況】







海岸整備により
背後地を防護

砂浜の整備により
海岸利用も促進